

特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

目的

特別支援学校高等部生徒の就労率向上と就労継続

- ① 社会参加を支える関係機関・関係職種のネットワーク構築による支援の組織化
- ② 個別の教育支援計画、指導計画を活用した家庭及び学校間の情報共有、共通理解や支援の継承
- ③ 職場実習を通じた、就労意欲の向上、就労希望の拡大



成果

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、実習等が行えないなどの状況が続いているが、学校と家庭や企業、学校内での連携により、就労を希望する生徒の就労率は85%以上を維持している。
- ・ 個別の教育支援計画の作成と引継ぎはほぼ100%であり、学校同士で情報共有と共通理解と支援継承を図ることができている。
- ・ コロナ禍における企業実習の在り方や、就労意欲を高めるための教育課程編成の改善などが今後の課題として挙げられる。

事業内容

- ① 医療・保健・福祉・労働などの関係行政機関等との相互連携の下、卒業後の就労・自立・社会参加も含めた、広域的な地域支援のためのネットワークを形成する。
- ② 個別の教育支援計画の作成状況は、小学校、中学校、特別支援学校でほぼ100%であり、これを進学先へと引き継ぐことで、作成したものを活かしながら関係機関との連携を図る。
- ③ 事業所面談会などの労働関係機関との共催事業等を通じて、企業と教職員の関係を構築し、情報提供の拡大を図る。
- ④ 夢ふくおかネットワーク会報「夢だより」を作成し、ホームページへ掲載することで、必要な人が情報を入手しやすくする。

夢ふくおかネットワーク

アドバイザー

企業関係

医療関係

ハローワーク

就労支援センター

事務局

教育委員会
就職指導員

保健福祉局
(オブザーバー)

学校関係

学校長
進路担当
教務主任

保護者代表